

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。	
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)	
留学先大学名	香港中文大学 (国名: 香港)		
留学先学部名(またはプログラム名)	IASP (International Asian Studies Programme)		
留学期間	2013 年 9 月 ~ 2014 年 5 月		
学部/学府・年次	理 学部/学府	4 年次~	4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	④・無 (期間: 1 年)		
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	①. 4年次に留学したため ②. 単位が不足するため ③. 新卒で就職したいため ④. その他(具体的に記入)		
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?			
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) ②. 大学院進学(大学 学府/研究科) ③. その他(具体的に:)		
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)			
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?			
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?			
1. 留学先大学について			
授業(カリキュラム等)の概要について	交換留学生は全員IASPというプログラムに所属しながら、大学で開講されているほとんどの授業を履修することができる。授業は英語、中国語、広東語で開講されていて、基本的に現地の学生と一緒に授業を受ける。(授業によっては中国語だけ、または英語だけでしか開講されていないものもあり) 基本的にひとつの授業につき3単位あり、留学生は最低9単位から最高18単位まで履修することができる。授業は講義形式に加えて、チュートリアルと呼ばれる講義で学んだことについてディスカッションをしたり、復習をしたりする時間がセットになっている。成績評価にはテストや課題の成績だけでなく、グループワークやプレゼンテーションも求められる授業が多い。		

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>定期的に留学生と現地学生の交流のためや、語学や文化を交流させるための食事会やイベントが開催される。基本的に英語または中国語が話せることが前提で学校生活を送るので、ある程度は身につけておいたほうが良い。また、勉学面に関しては24時間開いていて勉強できるスペースが学内にいくつかあるので、テスト期間や遅くまで勉強したいときなどはそこを利用できる。現地の学生も優しくてフレンドリーな人がほとんどなので協力しながら勉強するとより充実したものになると思う。生活面に関しては、寮によるところが大きい。寮によって駅からの距離、食堂の有無、ジムなどの施設の有無が違う。私は I-house に住んでいて、建物が古く、大学にある駅から遠い場所にあったが、慣れれば問題はなかった。一般的に香港は冬に暖房を使わないが、新しい寮などは部屋に暖房がついていたりした。冬は日本ほど寒くはないのだが、そのような寮に住まない限りは暖房なしで乗り越えなければならない。食事は学内には食堂がたくさんあるのでそこで食べ、たまに自炊をしていた。学内にスーパー、銀行、郵便局、スポーツジム、など生活に必要な環境が揃っているので便利である。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>第一印象は「でかくて山」である。大学はとにかく大きく、山に位置しているため坂道が多く、学内で移動するときは学内を無料で走っているバスを利用しなければならない。最初のうちは、移動が面倒くさいと思っていたが慣れてくると歩いて移動したり、いい景色が見られるスポットがいくつかあったりしてだんだん愛着が湧いて好きになった。また、この大学独特のシステムとして college というものがある。college というのは簡単に言うと所属する団体みたいなもので、すべての学生がいずれかの college に属している。現在この college は9つあり、それぞれに歴史や特徴がある。(ちょうど私の留学中に新しい college ができて9つとなった。大学ができた当初は4つだったらしい。)さらにおもしろいのが、college によって大学のエリアが分けられていて、住む寮も college による。前述したように、学内で生活が済み、ほとんどの学生が学内の寮に住んでいるので、すぐ友達に会えるし日本とは違った生活が味わえる。日本ではできない経験がたくさんでき、充実した留学生活になった。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>国籍や肩書きに関係なく様々な人々と交流してほしいということです。中文大学には、交換留学生や現地学生を含め、様々な国から多様なバックグラウンドを持った人々がたくさん集まります。そのような人々と、学び、遊び、共に生活することは一生の宝物となるはずです。</p>
-------------------------------	---

2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港中文大学</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>交換留学が決定した後に、大学側からメールが届き、指示に従って申請を行った。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>1ヶ月ほど</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	物価は日本よりも安く、特に交通費の安さには驚いた。学生の場合は電車やメロが半額になるので30分乗っていても100円かからないほどであった。香港はオクトパスカードという電子マネーがどこに行っても使えるので非常に便利。一人一枚は必ず持っている必需品。香港の特徴として人口密度が高いことが挙げられるので、どこへ行っても人でごった返している。また、どうしても日本食が食べたくなったときなどは大きい街に行けば必ず日本食のお店があるのでそこで済ますとよい。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 約60,000円/月 (生活費内訳)住居費:15,000円、光熱水料: 円、通学費: 円、食費: 円、電話代: 円、インターネット代: 円、書籍代: 円 その他:(具体的に) 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	PC、カメラ、スーツなど。だいたい物は現地で手に入る。また香港は日本製品を扱っている店も多く、ダイソー、ジャスコなどもある。
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	基本的に治安は安全。街中を歩くときはスリに気をつけ、盗難されないように注意を払うことが重要。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	私の場合はクレジットカード2枚と新生銀行のキャッシュカードを持参した。現地で銀行口座開設はしなかった。人によって開設して、日本から送金してもらっていた人もいた。現金を換金する場合は尖沙咀にある重慶マンションがレートがよい。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	I-House(International House)	
費用(月額)	15,000 円	
どのようにして見つけたか	オンラインの事前申請では S.H.Ho college を志望したが、抽選に外れてランダムに選ばれた。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	志望した寮ではなかったが、I-house になって逆に良かったと思っている。I-house は他の寮と違い、半分以上が留学生の寮である。立地は不便だが、そのおかげでいろいろな国の学生と知り合えた。また他の寮に比べてルールが緩く、快適な生活を送ることができた。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	香港は親日の人が多く、前述したように日本に関連したお店も多いので、日本人にとってはとても過ごしやすい場所である。	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

6. その他の特記事項